

平成21年度

防災(地震)に関する意識調査結果のあらまし



防災ナマズン

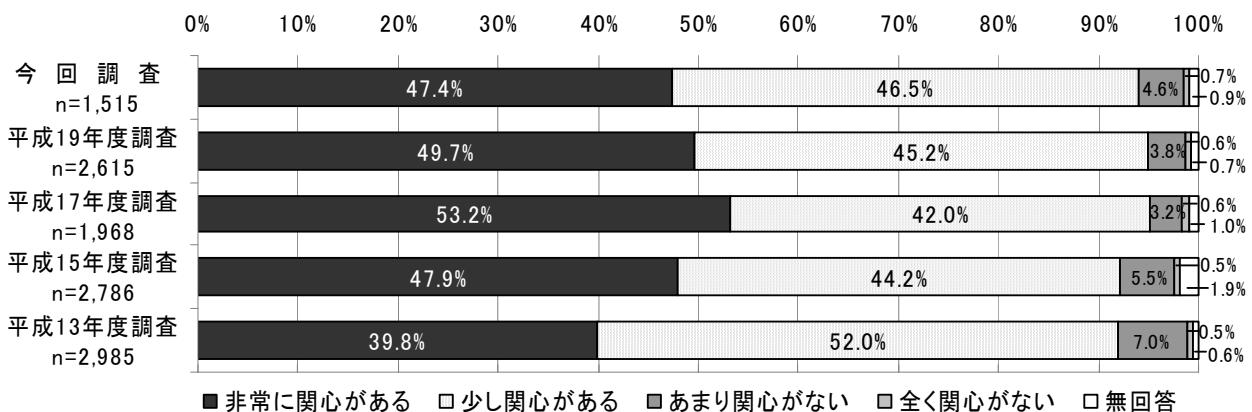
県内にお住まいの1,515人にうかがいました。

東海・東南海地震への関心

あなたは、東海地震や東南海地震に関心がありますか？

94%の人が「関心がある」と答えています。

「非常に関心がある」は、減少傾向です。



注：小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります
図中などで用いている記号の意味は、下記の通りです
n：回答者数 MA：複数以上の回答を認める設問

本調査の概要

- 調査地域 愛知県全域
- 調査対象者 20歳以上の県民 3,000人
- 調査時期 平成22年1月
- 調査方法 郵送法
- 有効回答率 50.5% (1,515人)
- 調査委託先 (株)地域計画建築研究所 名古屋事務所



防災局 防災危機管理課 啓発育成グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話：052-954-6191 (直通)

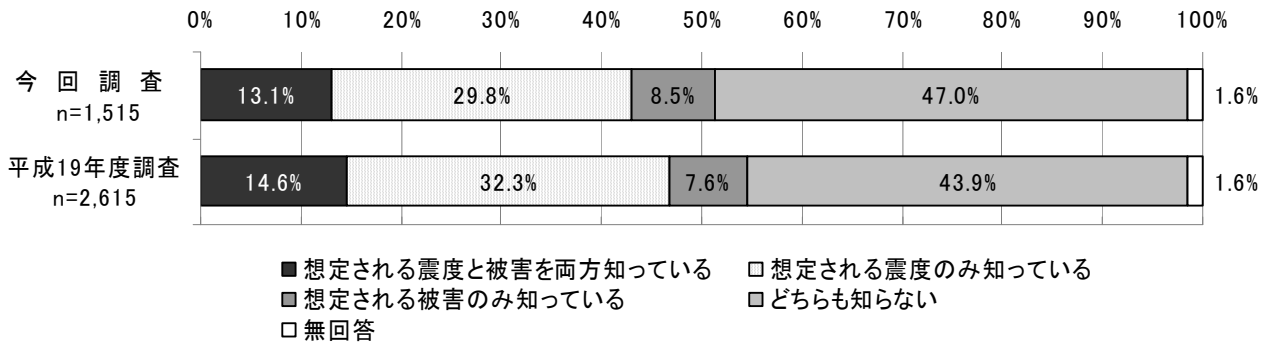
e-mail: bosai@pref.aichi.lg.jp

居住地の想定震度・被害

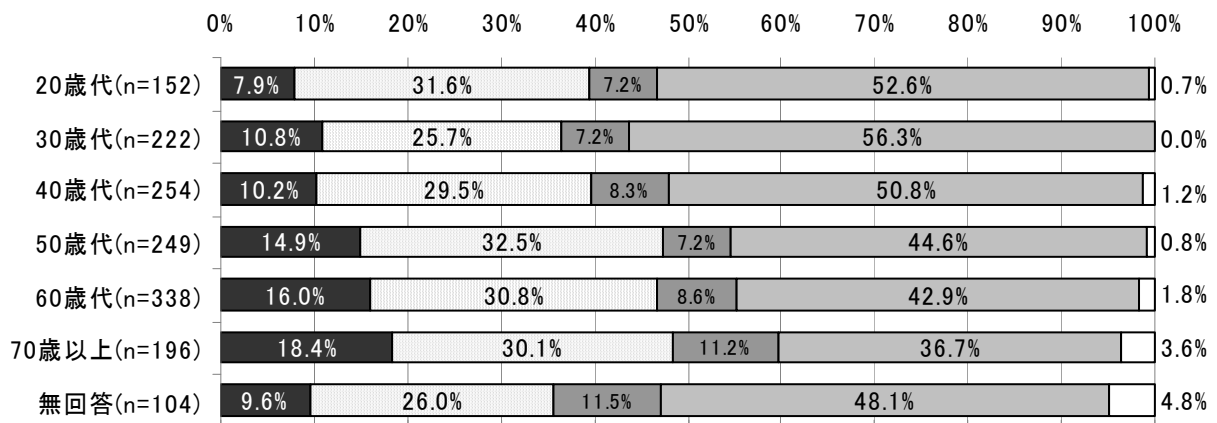
東海地震や東南海地震が発生した場合、あなたのお住まいの町内や集落での想定震度や被害予想を知っていますか？

47%の人が「どちらも知らない」と答えています。

「どちらも知らない」は増加傾向です。



年齢が低いほど知らない人が多く、「どちらも知らない」人は30歳代で最も多いです。



(防災豆知識)

愛知県では、インターネットで「防災学習システム」を公開しています。

「防災学習システム」とは、県民の方々がそれぞれお住まいの地域において、東海・東南海地震が発生したときの予想震度を知ることができたり、自宅の情報を入力して大地震時の自宅の様子をシミュレーションすることができるシステムです。以下のアドレスからご覧ください。

ホームページ <http://www.quake-learning.pref.aichi.jp>

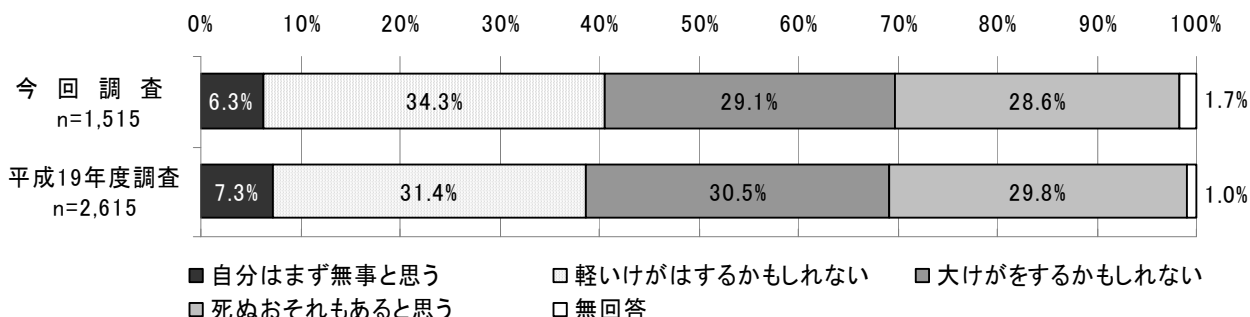


東海地震や東南海地震で想定される震度や、その震度によってどのような被害が生じるかをよく知って、大規模地震災害に備えましょう。

自宅での自分自身の安全

自宅にいるときに東海地震や東南海地震が発生し、震度6弱以上の強い揺れが起きた場合、あなた自身の安全はどのようになるとお考えですか？

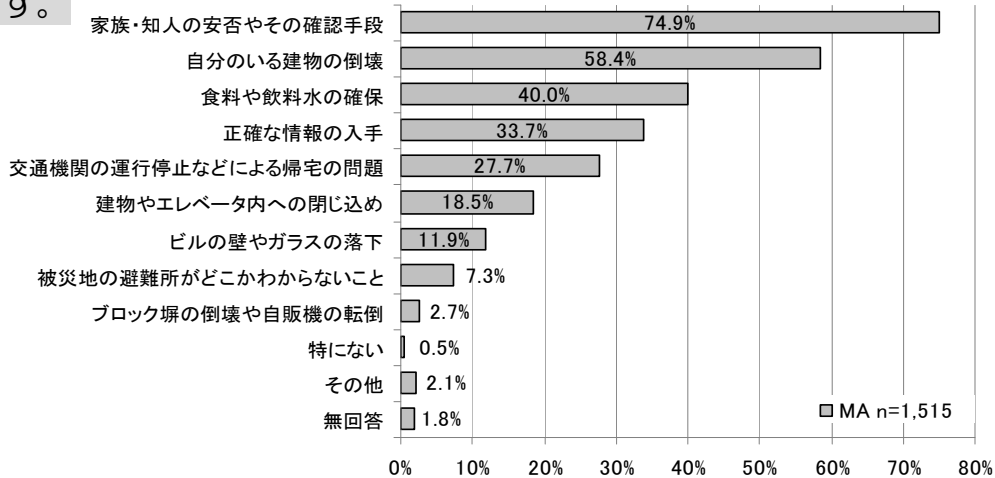
約6割の人が、「死ぬおそれもある」または「大けがをするかもしれない」と思っています。



外出先での地震発生時の不安

外出先などで東海地震や東南海地震が発生した場合、不安や危険に思うことは何ですか？ (〇は3つまで)

7割以上の人が「家族の安否」、6割近くの人が「自分のいる建物の倒壊」を不安に思っています。



(防災豆知識)

大規模地震が発生したり、東海地震の予知情報(警戒宣言)が発表されると強化地域内の公共交通機関は運行を停止し、多数の帰宅困難者の発生が予想されます。愛知県ではその対策として、県内の事業者と協定を結び、徒歩で帰宅する方々を支援してもらうこととなっています。

右のステッカーが貼ってある郵便局・コンビニエンスストア・ガソリンスタンドなどでは、徒歩帰宅者に対して「水道水」「トイレ」「道路情報などの情報」の提供をしてもらえます。



日頃から、災害の際の家族の連絡方法を定める、建物の耐震改修をするなどの備えをしておきましょう！

